

(様式3)

事業所名 グループホームみずほ

目標達成計画

作成日: 平成 23年 9月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	居室の棚に布団やダンボール等の荷物を置いており、地震発生時に落下し、利用者様や職員の怪我等の事故につながるおそれがある。	大地震が発生しても、棚からの荷物の落下による事故を防ぐ。	棚手前の下の部分から上に2～3cmの壁(ストッパー)を造り、荷物はダンボールに入れ、地震が発生してもその壁(ストッパー)があることで落下を防ぐ。工事着工までの間は、荷物を居室内に降ろしておく。	2ヶ月
2	35	ホールの格子の棚に、花瓶やティッシュの箱等が置いてあり、地震発生時に落下し、利用者様や職員の怪我等の事故につながるおそれがある。	大地震が発生しても、棚からの荷物の落下による事故を防ぐ。	現在ホールの棚に置いてある花瓶類は低い位置(洗面台等の面積が広い場所)に置き、ティッシュの箱は、都度使用するものなので、テーブル上又は食器棚の引き出しに入れ、落下による事故を防ぐ。	0.5ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。